

幼稚園について

大野 栄光



〔質問〕教育委員会の令和元年9月定例会会議録において、教育長より第一幼稚園休園の文言が出ているが、いつの時点で休園の審議決定がなされたのか。

〔答弁〕「教育長」幼稚園の休園については、教育委員会の議決案件ではなかったことから、教育委員会令和元年9月定例会の一般事務報告の中で説明している。

件ではないことから、一般事務報告の中で説明しているが、教育委員会令和元年9月定例会の他に、平成31年4月、令和元年5月及び8月の定例会においても一般事務報告の中で説明し、総合的に検討を行なってきた。

〔質問〕第二幼稚園は災害に弱い地域内にあるが、約100名の園児が過ごす場所として、安全を担保できるのか。

〔答弁〕「教育長」東日本大震災の際、第一幼稚園では教室や遊戯室の床の沈下が発生したが、災害復旧工事として修繕しており、施設の安全性に問題はないと考えている。

また、台風19号の際は園庭が冠水したものの、建物への浸水はしていないことから、園児が過ごす場所として安全は確保されていると考えている。

◎スパシユランドについて

〔質問〕昨年12月、中央公民館において市政懇談会があり、スパシユランドを休館する方針が示された。

市民からは施設存続を望む意見や要望もあるが、所見を伺う。

〔答弁〕「市長」本市の財政状況や施設利用者の減少を考えた上での判断であるが、現在も休止ありきで考えているのではなく、継続できないか模索、検討中である。

〔質問〕スパシユランドが休館となれば、小原地区は地域衰退へつながると思われるが、地域活性化の点から所見を伺う。

〔答弁〕「市長」重要な観光資源を活用しながら、継続して小原地区の振興に力を尽くしていく。

新型コロナウイルス感染症について

森 建人



〔質問〕新型コロナウイルス感染症は、昨年12月に中国湖北省武漢市において確認されて以降、世界各地で患者発生報告が続いている。

新型コロナウイルス感染症対策本部の設置から現在までの動きを伺う。

〔答弁〕「市長」2月3日に白石市新型コロナウイルス感染症等に関する対策本部を設置した。

2月6日の第1回会議では、これまでの対応経過の確認、市関連施設などの情報共有、妊婦への備蓄マスクの配付、市民への情報発信や感染予防の呼びかけを継続することを決定した。

続いて2月28日に第2回会議を開催し、市が主催する行事の実施について検討した他、在宅酸素療法を受けている方や人工透析を受けている方にマスクの配付を決定した。

また、市内全小中学校を3月2日から24日まで臨時休業させ、卒業式は従前の式典は行わず、各学校の判断や手法で卒業証書授与を実施することとした他、各小中学校での預かり実施や部活動の一切停止、春に予定している中学校の修学旅行の延期を決定した。

さらに、3月2日に臨時会議を開催し、中央公民館などの施設を3月3日から15日まで原則休館とし、3月15日までの行事も中止や延期を決定したところである。

〔質問〕本市の観光や経済への影響を伺う。

〔答弁〕「市長」市内12軒の宿泊施設に対し、新型コロナウイルスによるキャンセル状況を調査したところ、3月3日現在で10軒から回答があり、約900件、金額にして約3千万円のキャンセルがあり、既に経済活動に大きな影響が出てきている。

〔質問〕ほかにもさまざまな業種で影響が出ていると思うが、本市としての対策を伺う。

〔答弁〕「市長」今回の経済関係の問題は、国において対処すべきものと考えている。

直接的な減収や経営困難といった事例に対応する施策を、国や県に働きかけていきたい。

◎マイナポイント事業について